

伊藤病院だより
WINTER

Voice

2010年12月1日発行 第32号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



レインボーブリッジ

当院は甲状腺疾患専門病院で、お陰様で多くの患者様にご来院いただいております。単一施設での甲状腺疾患の患者数で見ますと世界的にも指折りの施設であり、これまでも数多くの研究成果を報告してまいりました。今後も、患者様のためになる研究成果を国内外に発信していくことも我々の使命であると考えております。

現在、新しい検査、治療や薬剤などの有用性を評価するためには無作為化比較試験（RCT）が必須で、あらゆる疾患の臨床研究について世界中でこの試験が行われています。当院も積極的に無作為化比較試験を行うことで、より良い医療を患者様に提供するべく努力してまいります。過去の医療は医師の経験に頼った医療の選択が行われていたことは否めません。最近では科学的根拠に基づいた医療に対する意識が高まり、医療の選択を可能な限り論理的に行うようになってきました。無作為化比較試験では、どちらがより優れた医療かわかっていない2つの方法（例えば治療Aと治療B）について、担当医以外が割り振ります。明らかにどちらかが優れていると分かっている医療に関して、この試験が行われることはありませんので、どちらに割り振られても現時点で患者様ご自身が不利益を被ることはありません。この試験の結果で例えば10年後に、一方の治療法（例えば治療A）が優れていると結論が出れば10年後の患者様は迷わず治療Aを選択することができます*。当院における本試験は無作為化比較試験検討委員会および倫理委員会で、その研究の妥当性、安全性を十分議論し、患者様に不利益をもたらさないデザインでのみ実施されます。日常診療におきましては、従来から伊藤病院を受診されている患者様は今後何かしらの臨床試験に割り振られたとしても不利益を被ることはありませんし、ご同意いただけない場合でも何ら不利益を被ることなく引き続き診療を受けて頂くことが可能です。

ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

※RCTによる事例

現在、乳癌の治療において全摘ではなく部分切除（乳房温存手術）が受け入れられているのは、1970年代のイタリアにおける大規模な無作為化比較試験の結果によるものです。

患者様へお願い

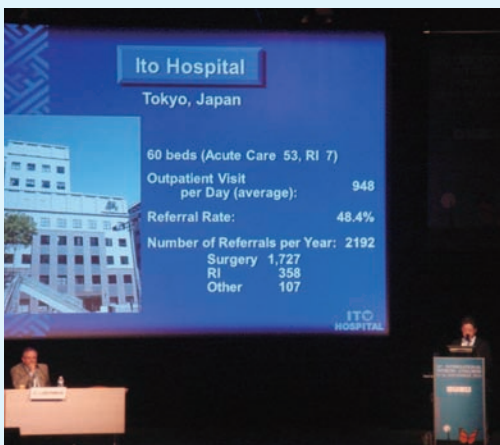
本研究は、2011年1月より初診患者様を対象として開始する予定です。受付時に「同意書」をお渡しいたしますので、同意の可否につきましてご記入の上、受付窓口までご提出くださいますよう、お願いいたします。なお、ご不明な点がございましたら、診察時に担当医におたずねください。

当院では手術後には内服の必要のない甲状腺機能の正常化を目標とするために一部の甲状腺を残す甲状腺亜全摘術を標準的な手術方法としてきました。本方法を採用している施設も多く、当院も長きにわたり標準術式としてきました。かつては本術式の成績は良好なものと評価されてきましたが、甲状腺機能検査の精度の向上がみられ、それまでに比較して必ずしも良好とはいえないものと判明してまいりました。1983年1年間に甲状腺亜全摘術を施行した216例の8年後の甲状腺機能を検討しましたところ、機能亢進症（再燃）は18%に認められ、機能正常であったものは30%にすぎませんでした。再燃を予知する因子は残す甲状腺の大きさ（残置量）しかなく、たくさん残せば再燃しやすく、少ししか残さないと低下になりやすいということもわかってまいりました。甲状腺機能正常化にする適正な残置量を推測することができないため、内服のない甲状腺機能正常化という目標を達成することはできないと判断しました。再燃が受験、就職、妊娠時などに認められると患者様の人生そのものに大きな影響を与える可能性があります。以上のような理由から現在は甲状腺全摘術（ないしは準全摘術）を勧めています。しかし、甲状腺が無くなることや生涯甲状腺ホルモン薬を飲むことに不安を抱えている方もおります。手術方法は患者様と相談の上で決定しておりますので亜全摘術を選ばれても問題はありません。甲状腺全摘術の後では甲状腺機能亢進症が再燃することはありませんので、血液検査の回数も減り、来院頻度も減って参ります。甲状腺ホルモン薬は適正な量である限り副作用はほぼありません。時に飲み忘れても急激な体調の変化はありませんし、日本のどこの医療機関でも処方可能です。

当院への通院が困難になった場合にもかかりつけ医に処方をお願いすることも可能です。担当医とよくご相談のうえ、手術方法を選択してください。

第14回国際甲状腺学会

5年毎に開催される国際甲状腺学会が、今回は9月11日からパリで開かれました。この学会は世界中の甲状腺の専門医が一堂に会して甲状腺疾患について議論する場で、甲状腺関係の学会では最も多く



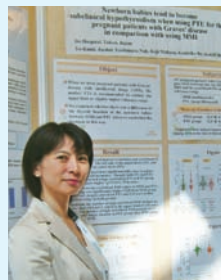
の専門医が集まります。当院からは、招待講演の依頼のあった院長をはじめ杉野、吉村、國井、矢野、松津の6名の医師が参加しました。院長は甲状腺乳頭癌のシンポで20分間日本における甲状腺乳頭癌の治療と予後について講演し、欧米と日本の甲状腺乳頭癌の違いについて欧米の専門医たちと活発な議論が行われました。杉野医師は濾胞癌の予後について、矢野医師は濾胞癌の転移先での甲状腺中毒症について、松津医師は乳頭癌の長期予後について発表し、それぞれ欧米に比べて



杉野公則副院長



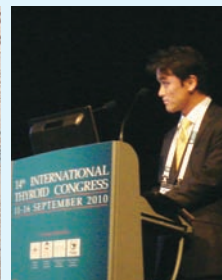
吉村弘内科部長



國井葉医師



矢野由希子医師



松津賢一医師

釧路甲状腺研究会

10月6日に北海道釧路市で開催された「釧路甲状腺研究会」において、伊藤公一院長が講演を行いました。この研究会は釧路市医師会が主催しており、2003年に引き続き、2回目の講演となりました。



今回は、「甲状腺疾患の診断と治療～バセドウ病を中心に～」というテーマで、バセドウ病患者様に多くみられる症状のご紹介から、診断・治療までの流れ、薬剤・手術・アイソトープ治療におけるそれぞれの治療方法の長所・短所など、伊藤病院における甲状腺疾患への取り組みについての講演を行いました。

甲状腺疾患は風土病ではございませんので、各地に甲状腺を病む方々がいらっしゃいます。この地で診療されている先生方に向けて、専門病院における診療の実際をお話したことが、北海道の甲状腺疾患診療の進歩につながればと願っております。

第43回日本甲状腺外科学会学術集会

伊藤公一院長が理事を務める日本甲状腺外科学会学術集会が10月14日、15日に岡山県の倉敷市で開催されました。今回は“甲状腺外科の現状と展望”をテーマに全国から多数の甲状腺外科医が集まり、当院からは7演題を発表し活発な議論が行われました。

また当院は以前より最新の検査や治療を積極的に取り入れており、今回学会員に対するセミナーの講師として杉野公則副院長と北川巨診療技術部部长が招聘され講演をさせていただきました。講演内容は「甲状腺ホルモン剤の中止をせずにアイソトープ検査が可能な遺伝子組換えヒト型甲状腺刺激ホルモン製剤 (rhTSH) の有効性」(杉野)と「従来手術より手術時間の短縮や出血量の減少を可能にできる新しい手術機器によるバセドウ病手術」(北川)です。200名を超える学会員が聴講し、講演後質疑応答が行われました。

「当院におけるrhTSHの経験と有効性を学会に発表しました。rhTSHは患者様の負担を少なくしてアイソトープ検査を実現した薬剤です。今後も本検査の必要な患者様にはお勧めして参りたいと考えております。」(杉野)

「今後も新しい手術機器を用い、患者様に負担の少ない手術を目指していきたいと思っております。」(北川)



杉野公則副院長



北川巨診療技術部部长

第52回全日本病院学会

10月10～11日に神戸市で第52回全日本病院学会が開催されました。この学会では、職種を問わず全国の病院職員が集まって発表、ディスカッションが行われますが、今回はのべ4000名以上の参加がありました。当院からも看護部から4演題、臨床検査室から2演題の発表と、メディカルツーリズムについてのシンポジウムにおいて、伊藤公一院長が講演を行いました。

看護部の発表では、患者様の不安について看護師がどのように関わっていくべきかについての検討結果を、臨床検査室からは安全かつ正確に採血検査を行うための取り組みを研究発表いたしました。

シンポジウムでは、メディカルツーリズムをテーマとして伊藤公一院長が当院の外国人患者様への取り組みをご紹介いたしました。

今回の学会で学んだことを日々の診療に役立てて、より良い医療サービスのご提供に励んでまいります。



水澤かほり看護師

大野希看護師

迫園仁美臨床検査技師



阿部佳代看護師

宮崎直子臨床検査室室長

新井美代子看護師

◆当院からの発表演題

「甲状腺疾患専門病院におけるメディカルツーリズムへの取り組み
～国土交通省・観光庁国際観光政策課「インバウンド医療観光に関する研究会」委員として～」
伊藤公一院長

「終末期の患者・家族への自己決定支援について ～1事例を通じた考察～」
看護部病棟 大野 希、志村香織

「術後の悪心・嘔吐の発生頻度と天気・気圧の因果関係についての調査報告」
看護部病棟 菅原千絵華、阿部佳代

第4回大江戸内内分泌手術手技懇話会

「大江戸内内分泌手術手技懇話会」は、その名のとおり内分泌外科に関する研究を行い、手術手技・知識・技術の向上をはかるために、日本医科大学



シンポジウムの座長を務める
北川診療技術部長と平塚看護部長

特別講演の座長を務める伊藤
院長

授によって昨年立ち上げられました。

第4回となる今回は、伊藤公一院長が当番世話人を務め、10月23日に「南青山・スパイラルビル」で開催いたしました。当院からの2演題を含む合計8演題の発表と、新たに看護師の発表によるシンポジウムを企画いたしました。

なお、特別講演として私共と縁の深い昭和大学脳神経外科の阿部琢巳教授に「経鼻的下垂体腫瘍摘出術－全摘出をめざした工夫」をご講演いただきました。

当日はこれまでの学会以上に大勢の参加者が集まり、医師・看護師が職種や施設の枠を超えて積極的なディスカッションが行われ、大変活気に満ちた学会となりました。



竹間由佳医師

久保田伊哉医師

菅原千絵華看護師

「手術に対する不安をもつ患者の看護 ～プロセスレコードを用いて～」
看護部病棟 水澤かほり、デュブラ尚子

「細胞診結果を聞きに来院された患者との関わりを通して外来看護師の役割を考える」
看護部外来 新井美代子

「リスクマネジメントから見た採血 『質』向上へのアプローチ」
臨床検査室 迫園仁美、天野高志

「手洗いチェッカーを活用した手指衛生の啓発活動」
臨床検査室 宮崎直子、遠藤千春

事務長交代のご挨拶

このコーナーでは、当院の連携施設である大須診療所のご紹介をしております。大須診療所は、名古屋で当院と同じ甲状腺疾患を専門に診療しており、伊藤公一院長も隔週で診察を行っています。

このたび、診療所の事務長が交代となりましたので、ご紹介させていただきます。



大須診療所 新事務長 高田 博史

平素は大須診療所をお引き立て頂き有難うございます。

さてこの度、9月16日より3代目岩楯事務長より大須診療所の事務長を引き継ぐことになりました高田博史と申します。これまで外資系診断薬メーカーで営業等を経験し甲状腺関連の試薬機器を販売してまいりました。何かのご縁があり4代目事務長として就任いたしました。以前より当院を知っていらっしゃる方からは、代が増す度に年齢も増したねと言われるかもしれませんが、これまでに培った経験を生かし、より一層質の高いサービスを地域の方々へご提供していきたいと思っております。尚、開院7年目を迎える大須診療所も来年6月にはアイソトープ設備を兼ね備えた新大須診療所として新オープンいたします。スタッフ一同これまで以上の創意工夫をご期待頂き、中部・東海地区の甲状腺疾患専門医療機関としてさらなる飛躍をしてまいります。どうぞよろしく願いたします。



大須診療所 前事務長 岩楯 靖

大須診療所は伊藤病院の関連施設として、今年6月で開設6周年を迎えました。

私が赴任した、2年前に比べると受診される方は、その35%以上が名古屋市内のみならず愛知県全域、近隣の岐阜県、三重県の先生方からの紹介となっております。その間、診療所では数少ない迅速診断システムの導入や近隣の医療施設との円滑な連携を深めるようになってきました。大須診療所では質の高い診断、治療を絶えず積み重ねてきた結果、数多くの患者さんをご紹介頂くようになっております。今後は内科的治療・外科的治療に加え、アイソトープ治療にも力を入れてまいります。

このような折、9月をもちまして事務長を交代し、今後は伊藤病院でISO9001の推進に取り組んでまいります。

大須診療所では、今後も新たな新体制のもとに、中京・東海地区における甲状腺疾患専門医療機関のオピニオンリーダーとなるべく、『甲状腺を病む全ての方々のために』の理念のもと職員一同、皆様の期待にお応えし、質の高い医療を提供できるよう鋭意努力してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしく願いたします。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。
ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須3丁目30番地60号 大須301ビル4階
電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://www.osu-shinryoujyo.jp/

統計情報

伊藤病院の手術治療—需要に応える工夫—

伊藤病院 外科部長 長濱充二

1997年に伊藤病院は新築され現在の病院となりました。以後は手術室の規模は変わらないまま手術治療を続けています。しかしこの間に手術件数は増え、昨年は10年前の約2倍となりました(図)。増加する手術の需要に応えるために行ってきた工夫の一端をご紹介します。

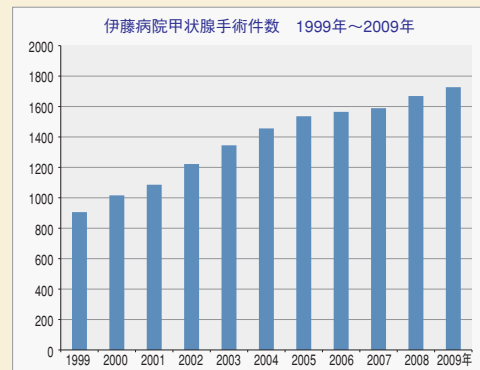
第一は手術日の増設でした。1997年当時の手術日は月・水・金の週3日を当てていました。しかし午前中は手術台を半分しか使用していない状況でした。2002年1月からは全ての手術台を1日使用して手術に当たるようになりました。しかしこれだけでは需要に応えきれなくなり、2003年6月からは隔週の火曜日午前中に手術を行うようにしました。1年後の5月からは毎週火曜日午前を手術日とし、2007年9月からは火曜日も1日を通して手術を行うようになっていきます。現在は月・火・水・金の週4日で一日平均10件の手術を行っています。手術日を増やすに当たっては手術に携わる外科医師の人数も重要となります。

第二には治療に当たる外科医師が増えたことが挙げられます。1997年には常勤外科医5人、非常勤外科医10人で手術に当たっていましたが、現在は常勤外科医14人、非常勤外科医6人と多くの外科医師が常時勤務をして手術を行っています。また手術日を増設するに当たっては、外科医師の問題だけではなく、手術室、病棟、外来、入院係、病理検査室、臨床検査室、放射線検査室、事務部門などのさまざまな部署の連携が必要となります。

第三には関連部署の代表が集まって開く会議(手術関係連絡会議)を行ってきたことです。手術に関する現状を知り、改善点を検討し、解決策を提案して関係各部署間の連携を図ってきました。

これ以外にも手術の連携についての日常の工夫として、当初から手術室と病棟の連絡はフットスイッチのインターホンで直接行い、次に手術を受ける方の準備や入室、手術を終えた方のご家族への説明を適切なタイミングで行えるようにしています。

また本年3月からは手術の午前、午後の区別をなくし、一日を通して休みなくその日に予定された手術治療を行うようにしています。



まだまだ手術までの待機期間が長く、手術を待たれている方にはご心配をおかけしていますが、今後も工夫を重ねることにより、ご期待に沿える治療ができるよう努力をしていきたいと考えています。

表参道寄り道スポット

tokyo baby cafe

伊 藤病院の裏通りを一步はいると表参道とは思えないほど閑静な住宅街があります。通りの一角に老舗「まい泉」があり、その斜め向かい地下にあるのが「tokyo baby cafe」です。

完全会員制のため、子供が騒いでも周囲に気兼ねなく寛げる、乳児連れのママ・パパ・妊婦さん専用のcaféです。安全のために会員制になっていますが、入会金・年会費は無料です。

店内は落ち着いた色調の家具やフローリングで統一されており、優しい雰囲気でありながらも、デザイナーのセンスが光るオシャレなcaféです。お子さん連れのママやパパには嬉しい授乳室やオムツ替えスペースも広くて使いやすく、また、広々とした遊び場やたくさんのお絵本には、きっとお子さんも大満足でしょう。

店内には「子供の視点」と「大人の視点」をテーマにした様々な仕掛けが隠されており、例えば、「子供の視点」で見た授乳室のソファを「大人の視点」で再現した巨大ソファは、幅6.3m、高さ2.1mもあり、お子さんのプレイゾーンとしてご利用頂けます。他にも照明器具やフローリングなど、「親子」の仕掛けを是非探してみてください。

また、離乳食のほか、お子さん・妊婦さん・授乳中のママに優しいメニューがそろっています。

ママやパパはゆっくりお茶をしながらつろいで、お子さんは元気に遊んで、待ち時間や通院後にお子さんとも、楽しく快適に過ごしてみるのはいかがでしょうか？

なお、妊婦さんやお子さん連れの方以外の大人だけではご利用できませんが、そうでない方は7歳未満のお子さん連れや妊婦の方と一緒にいただければ、ご利用いただけます。

ご利用料金について
 ※7歳未満のお子様連れ、妊婦の方専用のカフェです。
 ※ご利用の際には会員になっていただきます。(入会金・年会費無料) 詳しくは「会員規約」をご覧ください。

基本料金

| | 会員 | お連れの方(ご家族・お友達) |
|-----|------|----------------|
| 30分 | 500円 | 250円 |

基本
DATA

| | |
|--------|---|
| 名称 | tokyo baby cafe |
| 住所 | 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-5-12-B1 |
| 電話 | 03-5474-8281 |
| HPアドレス | http://www.tokyobabycafe.com |
| 営業時間 | 11:00~19:00 (L.O 18:00) |
| 定休日 | 月曜日(祝日の場合は、営業する場合もございます。) |
| アクセス | 表参道駅 A2 出口より徒歩 3分 |



お店の方から一言

デザイナーnendoの手掛けたスタイリッシュでやさしい雰囲気の内装は、親も子も安心して寛いで楽しめる空間です。Birthday Partyをするにもピッタリな個室もご用意。絵本の読み聞かせやライブなど各種イベントも開催中ですよ。親子で優雅な時をお過ごし下さい。

表参道ランチ&グルメ情報

PACIFIC COAST HOUSE (パシフィックコーストハウス)

Good Days Malasada (グッデイズ・マラサダ)

🍴 今年の5月に、インテリアショップ「AOYAMA Francfranc」が青山通りにオープンしました。その中にある「Francfranc Village」には、美味しいお店が並んでいます。

今回ご紹介するのは、LAテイストのデリ&カフェ「PACIFIC COAST HOUSE」です。充実したメニューの中でも特におすすめは、ほうれん草のフェットチーネです。ほうれん草が練りこまれた麺と、オリーブのトマトソースが相性抜群で食べ応えがあります。お腹の空き具合に合わせて、量がレギュラーとハーフから選べるのも魅力的です。

ランチには2種のデリにミネストローネ、パン、ドリンクがセットになったデリ・プレートもあります。

店内は落ち着いた内装で、ゆったりとしたソファもあり、リラックスできるおしゃれな空間です。また、隣に並んだお店「Good Days Malasada」では、ハワイでも大人気のハワイアン・ドーナツ「マラサダ」を揚げたてで提供しています。



ほうれん草入りフェットチーネ オリーブのトマトソース (レギュラー980円、ハーフ830円)

しっかり食事したい時にも、ちょっと甘い物が恋しい時にも、おすすめのお店です。皆様もぜひ、味わってみてください！



お店の方から一言

パスタ、サンドイッチ、スイーツなど、昼から夜まで楽しんで頂けるメニューをラインナップ。正面右手のグッデイズ・マラサダでは、揚げ立てのハワイアン・ドーナツを販売中！お気軽にお立ち寄り下さい。

店名
PACIFIC COAST HOUSE
(パシフィックコーストハウス)
Good Days Malasada
(グッデイズ・マラサダ)

住所
〒107-0062
東京都港区南青山3-11-13
Francfranc Village 1F
電話・FAX
03-6438-9917
HPアドレス
<http://www.alohatable.com>

営業時間
PACIFIC COAST HOUSE
11:00~23:00
Good Days Malasada
11:00~18:00
定休日
なし
アクセス
表参道駅A3出口より徒歩2分

お店
DATA

品質方針

前号では、当院におけるISO9001：品質マネジメントシステムについての概要をご説明いたしました。その根幹ともいえるものが「品質方針」です。

(ISO=国際標準化機構 (International Organization for Standardization)が策定した国際規格)

ISO9001は「顧客満足」が根本になっています。医療機関においては、顧客、すなわち患者様およびそのご家族の方々の満足度向上のために、より安全で質の高い医療サービスをご提供していくことと考えています。当院では、2009年6月にこの品質方針を定め、甲状腺疾患専門病院として患者様の満足度向上のためにどのような方針で取り組んでいくかを示し、院内各所に掲示いたしました。

ISOの認証取得以前から患者サービス向上委員会を中心として、1Fに設置しているご意見箱や窓口でいただくご意見などを参考に患者様の満足度向上のために取り組んでまいりましたが、今後はISOのしくみを利用して「甲状腺を病む方々のために」より確実に業務見直しや改善への取り組みを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

「ISO9001が要求する品質方針」について

5.3 品質方針

トップマネジメントは、品質方針について、次の事項を確実にしなければならない。

- a) 組織の目的に対して適切である。
- b) 要求事項への適合及び品質マネジメントシステムの有効性の継続的な改善に対するコミットメント（約束）を含む。
- c) 品質目標の設定及びレビューのための枠組みを与える。
- d) 組織全体に伝達され、理解される。
- e) 適切性の持続のためにレビューされる。

「ISO9001が要求する品質方針」に対する当院の具体的な取り組みについてご説明いたします。（当院の品質方針管理規定より抜粋）

- a) 理念と基本方針で甲状腺疾患専門病院としての役割を明確にする。
- b) 半年ごとに職員による内部的な監査を行い、品質方針からはずれていないかどうか自律的なチェックを行う。
- c) 年度ごとに病院の目標（品質目標）を策定し、その目標と整合性が取れた部署目標、委員会目標、個人目標を定め、病院全体で目標を達成する努力を行う。
また半年毎に目標の達成率を調査し、必要な場合は計画の見直しを行う。
- d) 毎月、役職会議や職員のための広報誌を発行し、全職員への周知徹底を図る。
- e) 前年度の病院の成果（患者様からのご意見・目標の達成率・内部監査の結果など）を毎年まとめ、品質方針が適切かどうか確認を行う。

伊藤病院品質方針

- (1) 以下に示す「理念」と「基本方針」に基づき、常に患者様及び御家族の立場に立った品質マネジメントシステムを構築・運用し、計画的かつ効率的な活動を行います。

理 念

『甲状腺を病む方々のために』

基本方針

『甲状腺疾患専門病院としての業務に徹する』

伊藤病院は、下記六条の患者様の権利を尊重し、患者様の公正な処遇を保障するために、職員一同最大限の努力をして参ります。

記

第一条 個人の尊厳

患者様が病を自ら克服する主体として、その生命、人格を尊重いたします。

第二条 平等な医療を受ける権利

患者様の経済的・社会的地位、年齢、性別、疾患の種類に関わらず、平等な医療を受ける権利を尊重いたします。

第三条 最善の医療を受ける権利

患者様が最善の医療を受ける権利、医師、医療機関を選択することができる権利、診療に関する情報交付を受ける権利を尊重いたします。

第四条 知る権利

患者様自ら病状を理解するために全ての情報を得る権利、検査や治療の目的、方法、内容、危険性、予後および病状の経過に関して説明を受ける権利を尊重いたします。

第五条 自己決定権

患者様の自由な意志により、治療や検査を選択し、また拒否する権利を尊重いたします。

第六条 秘密の保持

患者様の承諾なくして、患者様に関する情報を診療に関与する医療従事者以外の第三者に開示されない権利を尊重いたします。

- (2) 患者様及び御家族の要求事項を満足させるとともに品質マネジメントシステムの有効性の継続的な改善を行います。
- (3) 品質目標を設定し、その運用状況を監視し、年度末に見直します。
- (4) 品質方針及び品質目標を職員全員が理解し、より良い医療サービスの提供に努めます。
- (5) 適切性の持続のために、年に一度品質方針の定期的な見直しを行います。

2009年6月1日 伊藤病院 院長 伊藤 公一

甲状腺疾患と治療 第6回 甲状腺がんと外科治療

伊藤病院 外科 大桑恵子

甲状腺悪性腫瘍（癌：がん）が見つかるきっかけは、首の膨らみやしこりがあるといった自覚症状や、最近では「人間ドック」などで偶然見つかる場合があります。そのしこりに対して、当院ではまず①「頸部エコー検査」でよりはっきりと大きさ・位置を確認し、②「エコーガイド下穿刺吸引細胞診」を行い、診断をしています。これは、しこりの部分をめがけて細い針を刺し、細胞を吸い取ってくるものです。この吸い取った細胞の形を見て、「がん」かどうか診断をします。現在のところ、甲状腺がんを「抗がん剤」や「放射線治療」だけで治す試みは成功していません。治療の基本は「がんを切除する外科治療」となります。それに加えて「放射性ヨード治療」や「TSH抑制療法」が補助的に行われることがあります。

甲状腺がんは進行が遅いものが大部分で、手術など適切な治療によって治すことができるものが大半ですので、甲状腺がんと聞いてもあわてず落ち着いて治療をしていきましょう。

甲状腺がん手術の実際

左右の鎖骨の約1.5~2cm上を、皮膚のしわに沿って8~10cmほど切開します。

甲状腺がんの手術は大きく分けて、

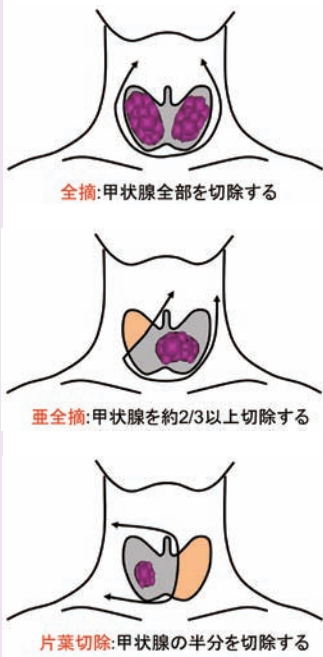
- ①甲状腺をどこまで切除するか
 - ②周囲のリンパ節をどこまで摘出するか（頸部リンパ節郭清術）
- に分けられます。

甲状腺の切除する範囲には、図1のように全摘術（準全摘術）、亜全摘術、葉切除術があります。リンパ節の切除範囲は

- A) 甲状腺周囲のリンパ節のみを摘出する方法
 - B) Aよりは広い範囲（首の脇の血管に沿ったところ）のリンパ節まで摘出する方法
- があります。

甲状腺を切除する範囲やリンパ節を摘出する範囲は病気の広がり具合により異なりますが、手術前までにどれくらいのお大きさの手術を必要とされるかが決まります。切除後は、皮膚を糸（時間とともに溶け

図1 甲状腺がんに対する甲状腺切除範囲

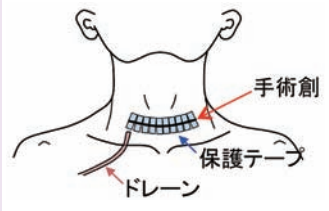


る糸)で埋没縫合(表面から糸が見えない縫合法)したあと、保護テープで皮膚の表面を合わせるように貼り手術は終了となります。

また、浸出液(体液のにじみ)や血液の貯留を防ぐため、径5mmのドレーン(チューブ)を留置するようにしています(図2)。

保護テープは手術後3~4日目ではがし、その後約1~3カ月は手術創が目立ちにくい肌色テープで創を覆い、ケロイドの発生を予防します。

図2 頸部(甲状腺手術)



手術に伴う合併症

ほとんどの方が合併症を伴わず退院されますが、まれに下のような合併症が見られる場合があります。

- ①嘔声：甲状腺の両側背中心側を、「反回神経」という声帯を動かす神経が通過しています。手術時、この神経を損傷・切断したり、術後の周辺組織のむくみから神経が圧迫されると、声が嘔(か)れたり出にくくなったりします。完全な切断でない限り徐々に回復します。
- ②テタニー：低カルシウム血症に伴う症状をいいます。手先などのしびれ、けいれんがみられます。甲状腺の両葉上下裏面には副甲状腺という器官があり、甲状腺摘出に伴い副甲状腺の血流が一時的に障害されると、低カルシウム血症をきたします。この症状に対して、血中カルシウム濃度を上げる薬を内服します。

どの手術方法も、良いところ・悪いところがあり、片側や一部分の甲状腺を残しての手術の場合、両側の反回神経麻痺の後遺症の確率は低くなる、甲状腺ホルモン剤を手術の後、飲み続けなくてよい可能性がある、副甲状腺機能低下症の確率が低くなるなどの良いところと、小さいがんは残してしまう可能性がある、転移が出現してきた場合、放射性ヨード治療を行うためには残りの甲状腺を取り除く手術がもう一度必要になるなどの問題点もあります。

一方、甲状腺を全部切除する方法では小さながんも残らず取り除ける可能性が高い、転移の治療に放射性ヨード治療をすみやかにできるなどの良いところがありますが、副甲状腺機能低下症などの合併症の可能性は高くなり、また甲状腺ホルモン剤を一生飲み続けることとなります。

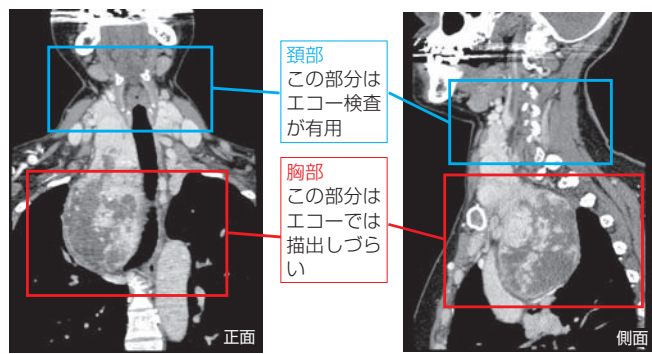
ただ、甲状腺の手術の内容は、その患者様のがんの状態によって変わるものですから、担当の先生の説明・治療方針をよく聞いて、疑問に思ったことはどんどん聞いて納得した上で手術に望んでください。

CTとは、Computed Tomography（コンピューター断層撮影）の略で、放射線を利用して、体の内部の様子を画像にする機器、検査のことです。

当院では、主に甲状腺腫瘍や副甲状腺疾患、がんの転移検索に利用しております。

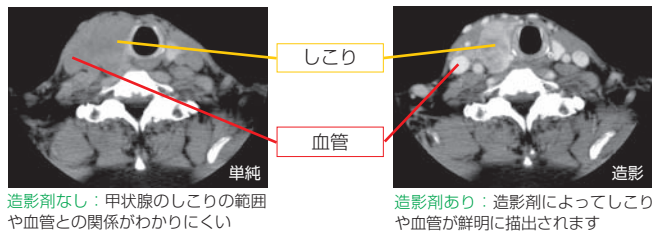
例えば、甲状腺がんで手術される場合に、病変の広がり（周囲の血管や気管への浸潤の有無、リンパ節転移の有無）を把握し、手術範囲を決める目安の一つにしております。頸部ではエコー検査が有用ですが、しこりが大きく、縦隔といって胸の方に進展している場合は、エコー検査で見えない部分が出てきてしまいます。そのときはCT検査により、しこりの範囲を正確に知ることができます。（図1）

図1 縦隔内甲状腺腫



また、CT検査のときに、ヨード造影剤といって血管の中に薬を注射して撮影することがあります。画像の濃淡が鮮明となり、病変をより鮮明に描出できたりしますので、甲状腺がんや副甲状腺機能亢進症のときに主に用いられます。（図2）

図2 頸部CT単純造影



ただ、造影剤といってもお薬ですので、稀に体に合わない場合（副作用）がありますので、施行前に簡単な問診と腎機能をみる採血を行い、副作用が生じやすいか否かを判断しております。

また、検査といっても少量の被爆はありますし、一部のペースメーカー・自動除細動器では誤作動の原因にもなるとの報告がありますの

咽喉頭異常感症とは、あまり聞き慣れない病名ですが、実際に経験された方は意外にいらっしゃるのではないかと思います。

これは咽喉頭(のど)に異常感があるのにもかかわらず、それに見合うような器質的病変が見つからないものと定義されています。のどに違和感を感じ、「のどのつかえ」「のどがはれている感じ」「のどの圧迫感」「イガイガした感じ」「引っかかる感じ」などと表現されます。また、唾液を飲み込むときには違和感が強いけれども食事の際には症状がないことが多いようです。このような症状は30～50歳代に、男性より女性に多いと言われております。

のどの違和感がでる病気には下記のように様々なものがあります。

- ・炎症性疾患：慢性扁桃炎、慢性副鼻腔炎など
- ・増殖・肥大：扁桃肥大など
- ・腫瘍性病変：甲状腺腫、甲状腺腫瘍、喉頭がん、下咽頭がん、食道がんなど
- ・全身の病気：鉄欠乏性貧血、糖尿病など
- ・逆流性食道炎
- ・アレルギー性鼻炎、アレルギー性喉頭炎など

まずこのような器質的な病気（炎症や腫瘍等の病気）があるかどうか確かめることが大切です。耳鼻科で喉頭内視鏡で腫瘍や炎症の有無を調べ、内科では胃や食道の検査を行い腫瘍病変の有無、血液検査で貧血や糖尿病、頸部超音波検査等で甲状腺疾患の有無を調べます。それでも異常がないようなら、更年期障害あるいはがん不安、神経症やうつ病など精神的な病気を考えます。このように咽喉頭異常感症の原因には様々なものがありますので、それぞれの病気によって治療は異なります。

ある患者さんがのどの圧迫感・閉塞感を訴え来院されました。耳鼻科で診てもらっても異常がなく、甲状腺の検査をしても異常がありませんでしたが、依然として不快な症状が完全に消失せず悩んでおられました。何かに夢中になっている時や食事の時には感じることはないため、心配な病気はなくストレスなどより出ている症状ではないかとお話しし軽い安定剤を試して頂いたところ、2～3回飲んだだけで症状がなくなったと喜ばれました。

このようにほとんど治療しなくても簡単に改善する場合からそうでない場合まで様々なケースがあると思います。症状が常に持続する場合や不安を強く感じる時などは、まずは耳鼻科や内科でご相談していただき、適切な診断、必要であれば適切な治療を受けていただくことが大切だと思います。



で、問診で合わせて確認しております。

当院のCT機器は東芝の「Aquilion CX」です。非常に高性能のもので、以前に比べ、短い撮影時間で鮮明な画像を得ることができるようになりました。

アジア諸国のメディカルツーリズム視察

伊藤病院 院長 伊藤公一

Voiceのバックナンバーでもお知らせしましたが、私は昨年より、国土交通省・観光庁「インバウンド医療観光に関する研究会」委員として、観光立国推進事業の一端に関わっております。



<視察スケジュール>

| 訪問日 | 訪問先 |
|-------|--|
| 9月27日 | APOLLO HOSPITALS (インド) Max Hospital (インド) |
| 9月28日 | Raffles Hospital (シンガポール) |
| 9月29日 | BANGKOK HOSPITAL(タイ) 在タイ日本大使館 (バンコク) |

そこで下記の日程で、観光庁のプログラムとして、先行するアジア諸国の現状を視察してまいりました。

「メディカルツーリズム」とは、「医療を受けることを目的とした他国への渡航」です。聞きなれなかった言葉ですが、これら技術的あるいは价格的に優位な医療を求めて人々が国境を超える動きは、既に世界的な潮流となっており、訪問した国々では国家事業として取り組まれております。

見学した病院は、渡航外国人の受診率が高いことで、世界中から注目を集めておりますが、実際に見聞し、以前より、国際的な医療の取り組みが成されていた実績を持って、国家プロジェクトに参画していることが理解できました。

我が国では、医療提供体制の整備、言語、文化の問題に加えて、昨今の周辺諸国とのデリケートな関係より、本格的な実施が躊躇されている状況にあります。伊藤病院は先の実証事業の成功と、日常的に外国からの渡航者に対して専門診療を実施し、海外の医療機関との診



日本語を含む各国語で作成されたパンフレットが設置されています



さまざまな国籍の方が治療にいらしていただきました

見学者のご紹介

- ◆ 南長崎クリニック院長 難波裕幸 先生
- ◆ 吉林大学第三病院甲状腺外科 張広 先生

当院では年間約28万人の患者様にご来院いただき、エコー下穿刺吸引細胞診を年間5500件以上、手術を1700件以上行っております。エコー下穿刺吸引細胞診では、診断率も極めて高く、件数・質ともに全国トップレベルを誇っております。このたび、この検査を見学いらっしゃった2名の先生をご紹介します。

7月、9月に南長崎クリニック 難波裕幸院長が見学にいらっしゃいました。南長崎クリニックは長崎市で内科全般を中心に地域医療や介護分野に取り組む一方で、難波院長は甲状腺がん治療についても研究を行われております。

吉林大学第三病院(中国)の張広先生が9月～10月まで研修にいらしていただきました。張先生は中国では甲状腺外科の診療をされております。当院での腫瘍の診断と手術に関心をお持ちで、エコー下穿刺吸引細胞診ならびにエコー検査と手術を中心に勉強されました。



療連携が密であることより、省庁や医療界から大きな期待を寄せられております。

その後開催された全日本病院学会にて、観光庁委員を代表し、当院における医療の国際化について講演をいたしました。国の理解が得られれば責務を果たしていきたいと考えております。

いずれにしても私どもの役目は決まっておりますので、甲状腺疾患の診療だけについては世界の中でトップランナーの位置に立つべき努力を惜しまないよう、あらためて決意をした次第です。

国際医療福祉大学からの実習生

今年も8月2日から約1か月、国際医療福祉大学の4年生が当院に実習にいらっしゃいました。実習生は「医療経営管理学科」において、診療情報管理や統計データの集計による経営分析など、最近では欠かすことのできない分野を勉強されております。実際の病院での実習という貴重な体験をぜひ今後に活かしていただきたいと思います。

国際医療福祉大学医療経営管理学科 菊地愛美

1ヶ月伊藤病院で実習させていただき、多くのことを学ぶことができました。各部署への見学では丁寧に説明して下さったため、業務内容や他部署との連携について詳しく知ることができました。実際に体験させていただいたことは強く印象に残っています。また、就職してからなかなか立ち入れないような部署も見学させていただいたことは、貴重な体験となりました。

大学では診療情報管理士を目指して勉強をしています。しかし今回現場でなければ解らないことを数多く学びました。管理士としてだけでなく、病院を組織する一人の医療従事者としてどうすべきか、今後の課題を明確にすることができました。この実習を活かし、一人前の医療従事者になれるよう努めてまいります。

お忙しい中、優しく熱心にご指導して下さいました皆様、本当にありがとうございました。

国際医療福祉大学医療経営管理学科 大森美早

この1ヶ月間、職員の皆様にはとても親切で丁寧にご指導をいただきました。実習では診療情報管理室や医事室、事務室を始め、臨床検査室や手術室など院内のほぼすべての部門の業務を体験・見学させていただきました。その中で最も印象的なのは、病院全体が電子化されているということです。大きな総合病院にも劣らないシステムでとても見応えがありました。他にも、各部門ごとの役割や業務の流れ、部門間の連携や甲状腺に特化することによる特徴など現場を肌で感じ、様々なことを学び取ることができました。とても貴重な体験をさせていただいたと感じております。

今回の実習ではお忙しい中、職員の皆様には大変お世話になりました。この実習で学んだことを今後を活かし、医療現場のお役に立てるよう努力していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

1日看護体験を行いました

伊藤病院 病棟師長 大島由美

平成22年7月23日、中学生の一日看護体験を実施しました。これは、中学生・高等学校生徒に実際の場を体験する機会を与え、これからの社会を担っていく世代の人達に看護の心を理解してもらう目的で計画されています。



これをうけ当院でも初めて1日体験学習実習施設に登録をおこないました。当日は2名の学生から応募があり看護体験を実施することができました。

13時からのオリエンテーション後、院内の見学をし、病棟において車椅子移送、検温・検脈・血圧測定などを看護師と一緒に体験しました。中学生はとまどいながらも興味深く取り組んでいました。

15時30分からは中学生と担当看護師との懇談会を行いました。中学生からは「緊張していたが脈拍測定や車椅子を押したりなど、新しい体験が出来て楽しかった」「何かを行うときは、必ず相手に声をかけて行うことが大事」などの感想が聞かれました。

学生の方々が看護の実際にふれる体験により、「生命の大切さ」「他人への思いやり」に気づいてもらったのではないかと思います。ぜひ看護師になることを目指してもらえたらと思います。

伊藤病院歴史パネルを設置しました。

1階の売店前待合スペースに伊藤病院歴史パネルを設置いたしました。

1937（昭和12）年の開設から、戦災による病院焼失、疎開、そして現在の地への病院建設、建て替えなど70年余にわたる当院の歴史を、初代 尹院長「基礎」、2代目 國彦院長「確立」、3代目 公一院長「発展」をテーマとして3枚のパネルにまとめました。また、社会の出来事と当院年表を対比したパネルも併せて設置しております。

開設以来、甲状腺疾患専門病院として歩んでまいりました歴史をまとめておりますので、是非ともご覧下さり、当院へのご理解を深めていただければ幸いです。

健生ニュースの監修を行いました

甲状腺機能亢進症では何もしていなくても心臓がドキドキする、手や指が震える、イライラしやすいといった症状、一方、機能低下症ですと顔や手がむくむ、便秘をしやすくなった、体が重くだるい感じがするなど、甲状腺の病気の症状は多岐にわたります。そのため、これらの原因が甲状腺の異常にあることに気がつかず、悩んでいる方も少なくありません。また、甲状腺の機能には異常がなく、しこりがでける場合もあります。

当院では、甲状腺疾患についてより多くの方に知っていただけるよう、積極的に広報活動を行っておりますが、この度、北川巨診療技術部長と向笠浩司内科医長が、甲状腺疾患を取り上げる「健生ニュース」の監修を行いました。

「健生ニュース」は全国の企業や大学の掲示板や医務室に掲示されるカラー壁新聞で、1万部以上を発行しています。写真やイラストを交えて病気についてわかりやすくご説明しておりますので、是非ともご覧になってください。



KIDDY LANDが移転しました

キディランドが8月31日をもって建替のため、休業となりました。新店舗として、150mほど離れたキャットストリートに「原宿キャットストリート店」が9月17日にオープンしています。原宿キャットストリート店では、新たに「スノーピータウンショップ」や「モンチッチオフィシャルショップ」も加わりました。この店だけの限定品や懐かしいキャラクター商品の復刻版なども販売されており、幅広い年齢の方が楽しめます。一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

- 住所 〒150-0001 東京都渋谷区 神宮前6-14-2 クレインズ6142ビル
- *P11の地図をご覧ください
- TEL 03-3409-3431 FAX 03-3409-3438
- 営業時間 月～金：11:00～21:00 土・日・祝：10:30～21:00
- HPアドレス <http://www.kiddyland.co.jp/harajuku>

健康食品の中には、医薬品の効果に影響を及ぼすものもあるため、健康食品等に関する正確な情報・知識を有する者として、独立行政法人 国立健康・栄養研究所が認定する栄養情報担当者：NR (Nutritional Representative) という資格があります。当院の薬剤室では、増田恵美、渡邊美里の2名の薬剤師がこの資格を有しています。

伊藤病院 薬剤室 増田恵美

近年の健康志向の高まりを受け、様々な健康食品が販売されています。この「健康食品」という言葉に法令上の定義はありません。一般に健康の保持増進に資する食品を指しています。その中には健康により効果があることが確認されているものもあれば、そうでないものもあります。わが国ではその効果を確認したものを「保健機能食品」と呼び、「栄養機能食品」と「特定保健用食品（通称：トクホ）」に分類されます。その他、「健康食品」「健康補助食品」「栄養補助食品」「栄養健康食品」「栄養調整食品」「健康飲料」「サプリメント」といった様々な名前がついた食品が流通していますが、これらは、国が制度化しているものではなく、「いわゆる健康食品」に分類され一般食品として扱われます。

一方、アメリカでは「従来の食品・医薬品とは異なるカテゴリーの食品で、ビタミン、ミネラル、アミノ酸、ハーブなどの成分を含み、通常の食品と紛らわしくない錠剤やカプセルなどの形状のもの」が1994年にDietary Supplementと定義されています。ヨーロッパでは同様のものが2000年にFood Supplementと定義されています。ここから、日本ではサプリメントという言葉が汎用されているようです。

保健機能食品の位置づけ

| | | | |
|-------------------|-------------------|--------|-----------------------|
| 医薬品 (医薬部外品を含む) | 保健機能食品 特定保健用食品 | 栄養機能食品 | 一般食品 (いわゆる健康食品を含む) |
|-------------------|-------------------|--------|-----------------------|



左のマークがついている食品が「特定保健用食品(以下、トクホ)」です。トクホはからだの生理機能などに影響を与える成分を含み、血圧、血中コレステロールなどを正常に保つことを助けたり、お腹の調子を整えるのに役立つなどの特定の保健の用途に利用される食品です。有効性、安全性、品質などの科学的根拠を示し、厳しい審査・評価のもとに、製品ごとに消費者庁の許可を受けています。(2005年から規格基準型、条件付き特定保健用食品も認められるようになりました。)

「栄養機能食品」は、適切な食生活を送ることが難しく1日に必要な栄養成分を摂れない場合に、その補給・補完のために利用する食品です。主に、ヒトにおける有効性や安全性のデータが蓄積され科学的根拠が確立しているビタミン、ミネラルといった生命活動に必要な栄養成分が対象です。消費者庁が定めた栄養成分の規格基準をみたしていれば、「栄養機能食品」と称し、自由に製造、販売が可能であり、国への許可申請はもちろん、届出の必要もなく、トクホのようにマークはありません。含有する成分の有効性を評価したもので、トクホとは違い個別商品进行评估したものではないことに留意する必要があります。

また、いわゆる健康食品のうち、JHFA (Japan Health Foods Authorization) マーク(右)をつけた食品があります。これらは(財)日本健康・栄養食品協会が認めている食品で、品質や製品の規格が保証されており商品選択の参考になります。



表紙no写真

レインボーブリッジ スペシャルライトアップ

東京湾にかかるシルエットの美しい白い橋は、芝浦地区とお台場を結ぶ東京のシンボルのレインボーブリッジです。

イルミネーションには、長寿命、省電力、高輝度などの特徴をもつ新しい光源“無電極ランプ”を採用、さらに、“クリーンエネルギー（太陽光発電）”を取り入れて点灯させているそうです。

季節によってイルミネーションが変化し、時折スペシャルライトアップもされており、東京港の夜を美しく彩っています。（手術室看護師 玉川里子）



編集後記

本格的な冬の到来を迎え、今年も残すところわずかとなりました。毎年この時期になると冷えや乾燥が気になりだす方が多いのではないのでしょうか。私もそのうちの一人です。私は極度の冷え性のため、冷え対策に生姜紅茶を飲んだり半身浴をしたり等と様々な工夫をしています。皆様はどんな対策をされているのでしょうか？今年の冬は特に寒さが厳しいそうなので皆様も体を十分に温めて寒さに負けないよう今年の冬も乗り切ってください！！

今回のVoiceもお楽しみに♪

(岩崎)

甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



「よくわかる 甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,360円（税込）
発行：主婦と生活社



「専門医が答える Q&Aバセドウ病」

著者：伊藤公一
定価：1,470円（税込）
発行：主婦の友社



「甲状腺の病気」

速やかな回復のための最新知識
監修：伊藤公一
定価：1,365円（税込）
発行：法研



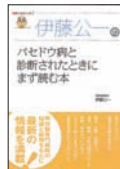
「甲状腺の 病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,260円（税込）
発行：講談社



「甲状腺の病気 バセドウ病・橋本病・ 甲状腺腫瘍ほか」

監修：伊藤公一
定価：1,470円（税込）
発行：主婦の友社



新刊

伊藤公一のバセドウ病と 診断されたときに まず読む本

著者：伊藤公一
定価：1,470円（税込）
発行：主婦の友社

発行 2010年12月1日発行 第32号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : <http://www.ito-hospital.jp>